

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 2 1 号
件 名	矢代田駅周辺地区土地区画整理事業の過去と現状と将来展望について
要 旨	<p>当事業は、地元議員並びに関係者の御尽力を賜り、住民の期待の中で、平成28年8月22日、矢代田駅周辺地区土地区画整理組合を設立し、事業費10億3,800万円、事業施工期間平成28年8月22日から平成30年3月31日、新潟市から4,300万円の新潟市土地区画整理事業助成金を頂き、事業認可された事業です。</p> <p>しかしながら、性悪説的計画から事業は全く進展せず、内部関係者の金銭問題等から新潟地方裁判所での醜い争いや、業務代行業者（東京のリキマツ住建株式会社）の社長が逮捕される等、めちゃくちゃの状況下にあり、現地は草ぼうぼうになっている。</p> <p>新潟市は、令和3年3月31日当事業認可を取り消し、当事業から撤退してしまった。新潟市は、当組合を満足に指導監督もせず、おのれの立場を忘れ、さっさと逃げ出すとは中原市長の職務怠慢であり、その行為を容認した議会にも責任が存在する。新潟市は、組合に復帰し、組合と一心同体になり、組合の解散に尽力し、大規模開発の移行に尽力する責務がある。</p> <p>議会も過去の当問題に対する総括と自己批判をし、矢代田駅周辺地区土地区画整理事業の現状を農家から直接話を聞き、現場の確認の履行を求め陳情いたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和5年9月7日 環境建設常任委員会
受 理	令和5年8月28日 第329号